

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-321882

(43) 公開日 平成11年(1999)11月24日

(51) Int.Cl.*

識別記号

F I

B 6 5 D 33/00
77/30

B 6 5 D 33/00
77/30

C
C

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平10-138273

(22) 出願日 平成10年(1998) 5月20日

(71) 出願人 000241186

朋和産業株式会社

千葉県船橋市習志野 4丁目11番10号

(72) 発明者 渡辺 克己

千葉県船橋市習志野 4丁目 7番 8号 朋和
産業株式会社内

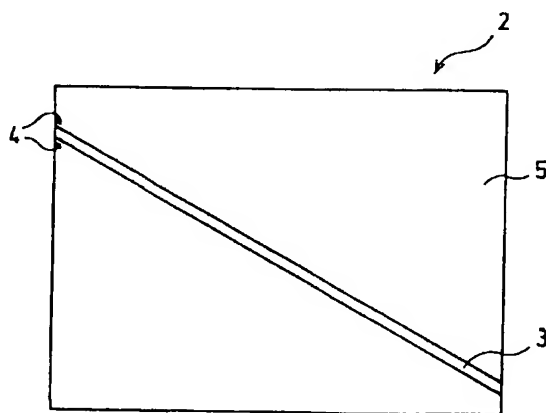
(74) 代理人 弁理士 藤本 昇 (外 1名)

(54) 【発明の名称】 包装シート及び包装体

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 内容物を取り出すことができるまで十分に切り裂くことが容易な包装シート及び包装体を提供する。

【解決手段】 矩形形状のシート5と、該矩形形状のシート5の辺に対して斜め方向に切り裂きを容易とする貼着されたガイドテープ3から構成された切裂手段とを具備していることを特徴とする。



BEST AVAILABLE COPY

【特許請求の範囲】

【請求項1】 矩形状のシート(5)と、該矩形状のシート(5)の辺に対して斜め方向に切り裂きを容易とする切裂手段とを具備してなることを特徴とする包装シート。

【請求項2】 前記切裂手段が、前記矩形状のシート(5)に少なくとも一部が貼着されているガイドテープ(3)で構成されてなる請求項1記載の包装シート。

【請求項3】 矩形状のシート(5)の一端(2a)が閉塞され、他端(2b)が開放されることにより袋状に形成される袋本体(1)と、袋本体(1)内に収容される内容物(10)とを具備し、該袋本体(1)の前記他端(2b)が閉塞されて形成される包装体において、袋本体(1)には内容物(10)に対して斜め方向に切裂可能な切裂手段が形成されてなることを特徴とする包装体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、包装袋に関する。さらに詳しくは、内容物を容易に取り出すことができる包装袋に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、ビデオテープ等を包装する包装シートの一例としては、図4に示すように、矩形状に形成された合成樹脂製のシート12の一端12a側にガイドテープ13が設けられたものが一般的に用いられている。

【0003】そして、該シート12をビデオテープ等の内容物10に巻回して密着し、熱溶着によりシート12の一端12a及び他端を密封して内容物10を収容した包装体15を形成している。

【0004】従って、前記従来のシート12に巻回されて形成された包装体15は、包装体15の一边の方向に対して略平行にガイドテープ13が形成されており(図4においては図4の横方向、即ち短手方向)、該ガイドテープ13の端部13aを摘み、ガイドテープ13に沿って包装体15を開封して内容物10を露出することができる。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかし、前記包装袋においては、ガイドテープ13が包装体15の辺の方向に対して略平行に形成されているため、開封される際にはガイドテープ13の設けられている一端12a側とその他の部分とに分離され、包装体15を開封しても、開封されていない包装体15の残りの部分から内容物10を取り出すことが困難であるという問題がある。

【0006】本発明は、このような問題点を解決するためになされたもので、内容物を取り出すことができるまで十分に切り裂くことが容易な包装シート及び包装体を提供することを課題とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するためになされた本発明に係る包装シートは請求項1記載の如く、矩形状のシート5と、該矩形状のシート5の一边に

対して斜め方向に切り裂きを容易とする切裂手段とを具備していることを特徴とする。このようにシート5に切裂手段を有することにより、シート5に内容物を収容する際、内容物に対しても斜め方向に切断手段が配置されることとなり、従って内容物を包装しているシート5を内容物に対して斜めに切り裂いて容易に内容物を取り出すことができる。

【0008】本発明に係る包装シートは、請求項2記載の如く、前記切裂手段が、前記矩形状のシート5に少なくとも一部が貼着されているガイドテープ3で構成されていると、ガイドテープ3に沿って確実に斜め方向に切り裂くことができるので好ましい。

【0009】本発明に係る包装体としての特徴は、請求項3記載の如く、シート5の一端2aが閉塞され、他端2bが開放されることにより袋状に形成される袋本体1と、袋本体1内に収容される内容物10とを具備し、該袋本体1の前記他端2bが閉塞されて形成される包装体において、袋本体1には内容物10に対して斜め方向に切裂可能な切裂手段が形成されていることにある。このように内容物10に対して斜め方向に切裂手段が形成されていることにより、包装体から内容物10を取り出す際、内容物10を包装している袋本体1を分割する面積を大きくすることができるので、容易に内容物10を取り出すことができる。

【0010】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態について図面に基づいて説明する。図1は本発明に係る包装体の一実施の形態を示す一部破断斜視図であり、図2は本発明に係る包装シートの一実施の形態を示す平面図である。図1において、1は袋本体を示し、該袋本体1は、包装シート2が内容物としてのカセットテープ10に巻回されて形成されている。また、包装シート2は、図2に示すように、合成樹脂シート等で略矩形状に形成されるシート5の一方の面(包装シート2の裏面、即ち包装すべきカセットテープ10に面する側の面)に、シート5の略対角に亘って粘着剤等により貼着された、包装シートを容易に切り裂くための切裂手段としてのガイドテープ3が設けられることにより形成されている。即ち、ガイドテープ3はシート5の辺(縦方向、横方向の何れの辺)に対して斜め方向に形成されている。

【0011】そして、包装シート2が内容物としてのカセットテープ10に巻回され、その両端2a、2bが封止されることにより、本発明に係る包装体が形成されている。

【0012】尚、包装シート2において、該ガイドテープ3の一端側には、ガイドテープ3を挟み込むように、直線状の切込4、4が形成されている。

【0013】上述のように袋本体1内にカセットテープ10が収容されて形成された包装体からカセットテープと取り出す際には、該切込4、4の間を指で摘んで引っ張ると、ガイドテープ3に沿って包装シート2を開封するこ

とができる。

【0014】その際、ガイドテープ3は、図1に示すように、カセットテープ10の各辺に対して斜め方向に、且つ前述のように包装シート2の略対角に亘って形成されているので、ガイドテープ3を引っ張ることにより、包装体1の一端2aから他端2bまでを確実に開封してカセットテープ3を取り出すことができる。

【0015】本発明に係る包装体の他の実施の形態として、図3に示すように、包装シート2の両側縁をヒートシールしてシール部2cを形成し、且つ一端部2aもヒートシールすることにより包装シート2を袋状に形成して袋本体1を形成し、他端部から包装袋内部に食品等の内容物10を収容し、該他端部2bをヒートシールすることにより包装体を形成することもできる。

【0016】また、このように袋本体1を袋状に形成する場合、図1と同様に内容物10に密着するように包装シート2を巻回して包装体を形成してもよい。

【0017】更に、ガイドテープ3の両端を挟むように形成されている切込4,4の形状は、図3においてはV字形状に形成されている。

【0018】上記各実施の形態においては、包装シートを容易に切り裂く切裂手段としてのガイドテープを直線状に形成したが、直線状でなくとも、曲線で斜めに形成したり、螺旋状に形成する等適宜変更可能である。また、上述の各実施の形態においては、ガイドテープを包装する内容物の一端から他端に亘って（包装シートの対角状に）設けたが、少なくとも包装する内容物を取り出すことができる程度の長さがあれば充分である。

【0019】更に、容易に切り裂くための切裂手段としては、上述のガイドテープに限定されことなく、例え

ばシートを合成樹脂シートで形成する場合、延伸方向を矩形状のシートの辺に対して斜め方向、即ち対角方向とすることによっても構成することができる。

【0020】このように、シートの辺に対して延伸方向を斜めとすることで、切裂手段を構成すると、上述の如きガイドテープを切裂手段とする場合に比して、包装シートを形成する材料を少なく構成することができる。

【0021】本発明に係る包装シートは、特にカセットテープ、ビデオテープ、フロッピーディスク、ソーセージ等に適し、特にソーセージ等の細長い内容物を包装すれば、確実に且つ容易に内容物を包装シートから取り出すことができるため、最適である。

【0022】

【発明の効果】本発明によれば、シートに内容物を収容する際、内容物に対しても斜め方向に切断手段が配置されることとなり、従って内容物を包装しているシートを内容物に対して斜めに切り裂いて容易に内容物を取り出すことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る包装体の一実施の形態を示す一部破断斜視図。

【図2】本発明に係る包装シートの一実施の形態を示す平面図。

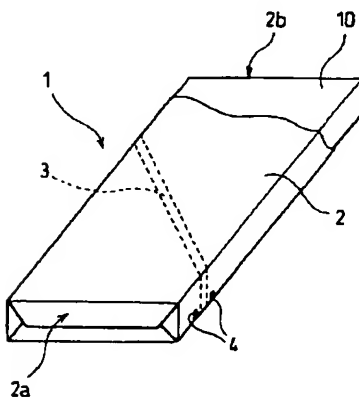
【図3】本発明に係る包装体の他の実施の形態を示す一部破断斜視図。

【図4】従来の包装体の一例を示す一部破断斜視図。

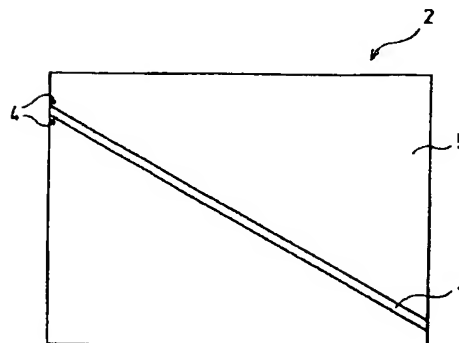
【符号の説明】

- | | |
|-------|----------|
| 1 袋本体 | 2a 一端 |
| 2b 他端 | 3 ガイドテープ |
| 5 シート | |

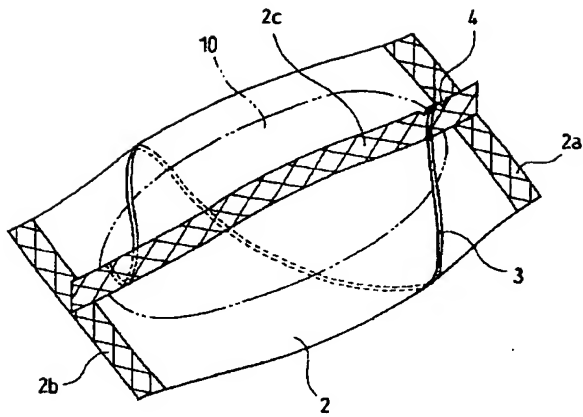
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

